

2009年度

科目名	障害児指導法演習		
担当教員	小田 浩伸		
配当	教福3	コード	44370
開期	前期	講時	木曜日4限 木曜日5限
単位数	2		
授業テーマ	障害のある子どもの実態把握、個別の支援計画の作成、保護者との連携、チームアプローチ等について実践的に学ぶ。		
目的と概要	<p>発達障害(LD・ADHD・高機能自閉症等)、知的障害、肢体不自由等の子どもとの関わりや支援実習を通して、個別の指導・支援計画の立て方や指導・支援の方法を実践的に学ぶこと、及び、障害のある子どもの保護者の悩みや心情等を理解することが、この授業(演習)のねらいである。今後の特別支援教育の実践に役立つことを期待している。</p> <p>* 本科目は 木曜4限・5限の連続授業です。</p>		
成績評価法	実践報告時の発言、実践実習に参加したときの観察記録、及び、毎回の実践報告レポート等により総合的に評価する		
テキスト	随時プリントを配布する。		
参考書	必要に応じて適宜紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	演習には、実際に幼児児童生徒とその保護者が参加しています。無断欠席がないことを履修条件とします。		
講義計画			
<p>1. 演習オリエンテーション</p> <p>(1) 実践実習の意義</p> <p>2. 指導・支援プログラムの概要</p> <p>(1) 肢体不自由及び知的障害の基礎理解</p> <p>(2) 肢体不自由の子どもへの動作指導の実際</p> <p>(3) 肢体不自由の子どもへの言語指導の実際</p> <p>(4) 知的障害(自閉症)の子どもとのコミュニケーションスキル指導の実際</p> <p>(5) 体不自由及び知的障害の子どもが興味を持つ教材・教具の作成実習</p> <p>3. 指導・支援の実習内容</p> <p>(1) 肢体不自由及び知的障害の子ども「個別の支援計画」の作成</p> <p>(2) 肢体不自由及び知的障害の子どもの実態把握と課題設定</p> <p>(3) 肢体不自由及び知的障害の子ども姿勢・動作指導</p> <p>(4) 肢体不自由及び知的障害の子ども言語・コミュニケーション指導</p> <p>(5) 肢体不自由及び知的障害の子ども心身リラクゼーション指導</p> <p>(6) 肢体不自由及び知的障害の子ども教科の基礎学習</p> <p>4. 事例研究(カンファレンス)</p> <p>(1) 指導・支援実践の報告と討議</p> <p>(2) 指導プログラム及び個別の支援計画の作成・実践・評価の検証(妥当性)</p> <p>5. 総括</p> <p>(1) 実践実習での学びのまとめ</p>			